

近未来書籍カフェ 雙峰祭グランプリを受賞！

2010年10月9～11日に開催された筑波大学学園祭「雙峰祭」で、図書館情報メディア研究科の宇陀・松村研究室と附属図書館が共同企画「近未来書籍カフェ」を出展しました。

多数のご来場と大好評を頂き、学研企画としては異例の最優秀賞「雙峰祭グランプリ」を獲得することができました。



「近未来書籍カフェ」とは、電子書籍や紙の本を組み合わせるなどして「近未来」の書籍空間を作り、そこで新しい読書体験を楽しんでもらうことを目的としました。この書籍空間をプラットフォームに、いくつかの企画が行われました。

ビブリオバトル

ビブリオバトルとは3～4人程度の参加者が1人5分の制限時間で1冊の本を紹介し、どれが最も面白そうで読んでみたくなった本かを会場のオーディエンスに決めてもらう「知的書評合戦」です。10月9日に2回行われ、それぞれ白熱したバトルが展開され非常に盛り上がりました。マンガから学術書まで様々な本が取り上げられましたが、どれも「読んでみたくなる」紹介が行われました。



本棚プロデュース

図書館の本 1300点余りと私物の本を使って「図書館の書架」とは一味違った本棚をプロデュースしました。その際、いくつかのアイデアを形にしてみました。

- ✓ **電子書籍と紙の書籍を組み合わせる。**
iPadのコンテンツと紙の書籍を組み合わせることで、両者の関係を探る試みを行いました。
- ✓ **意味深いオブジェと組み合わせる。**
よく本棚に小物を置いたりしますが、テーマと関連させるなどして、小物と書籍の関係も演出してみました。
- ✓ **独自のテーマで棚を作る。**
図書館や書店によくあるジャンル分けではなく、特定のテーマを設定して「あるテーマに興味がある人の本棚」を作ってみました。ちょっと意外な、でも関係ありそうな本が並びました。



✓ スペシャルな本棚。

「国立国会図書館長の本棚」として長尾真氏が選んだ本を並べたり、「筑波大学の学長、理事の本棚 (IMAGINE THE FUTURE.)」として、筑波大学の山田学長をはじめとする方々が選んだ学生に読んで欲しい本を並べたり、「図書館職員おすすめの本棚」として、普段は手に取られない、でもちょっと面白い本を図書館職員がチョイスして並べたりしました。

また「iPadと貴重書のコラボレーション本棚」として、附属図書館が所蔵する貴重書をiPadで表示する試みを行い、古典籍と最新デジタルガジェットとのコラボレーションを実現しました。

なお、「学長・理事の本棚」は附属図書館で今後も展示を続ける予定です。



おはなし会

9日と11日に、子ども向けおはなし会を行いました。

ただの読み聞かせではなく、お絵かきや宝探し、電子機器との連携といったアナログとデジタルが上手に融合された参加型の「近未来」なおはなし会として大好評でした。



着ぐるみ

筑波大学附属図書館のキャラクターとして大人気、あの「がまじゃんぱー」がついに着ぐるみになって登場しました。呼び込みやビブリオバトル優勝者の表彰、また雙峰祭生中継やグランプリ授賞式への出席など、大活躍でした。



体験コーナー

らくがき掲示板や iPad 体験コーナーも設置され、使い心地を試していました。iPad で描いた絵も掲示板に設置された iPad にも転送されて電子的ならくがきとなるなど、ここでのアナログとデジタルの融合が実現されていました。



近未来書籍カフェブログ <http://kinmirai.tumblr.com/>

週5 図書館生活、どうですか？ <http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/w5lib/?p=949>